

# 人との繋がり温かさ《海老名市・寒川町》

## 神奈川県立中央農業高等学校

「ちゅのとん」は、地元高校生が育てたブランド豚の名称である。発酵させた餌を与えることで焼く時の独特な臭みがなくなる。海老名市のお店で販売されるちゅのとんは地元で大人気となっている。



## 高座クリーンセンター（高座清掃施設組合）

新しく建設された展望室付きのごみ処理場。座間市、海老名市、綾瀬市の3市で出たごみが集まり、見学にも最適なつくりになっている。10階の展望室では、天気が良ければ富士山なども見えるため、雄大な自然と景色がとても良い。



※ 開場時間中であれば、環境プラザ及び焼却炉(展望台を含む)の見学は可能

## 和菓子處 吉祥庵(きっしょうあん)

倉見駅前にある吉祥庵は、先代のころから愛される和菓子店。

二代目店主の黒田和比古さんは、東京で開催される和菓子技術のコンテストで5年連続の上位入賞を果たしており、2018年には最優秀金賞を受賞した。「なぜここでお店を開いているのか?」との問いに、「寒川の土地柄、人柄のすばらしさに惹かれて」とのこと。取材したときに見せていただいた「柚乃餅」は、昔からなじみのあるお客さまが付けてくださっている柚子を素材にした上生菓子。見た目だけでなく味にも郷土愛を感じられる一品で、随所に二代目の工夫が凝らされている。



# 農と食の繋がり《伊勢原市》

## 石田牧場

伊勢原市の石田牧場では、自ら搾乳した生乳をジェラートに特化して加工している。石田牧場のジェラート屋「めぐり」では、地元農家の野菜や果物を活用したオリジナルジェラートを生産・販売している。店名の「めぐり」には、人や地域とのめぐりあわせの意味も込められており、幼稚園・保育園の園児を招いた乳しぼり体験なども実施している。社長の石田陽一さんは、「多くの人に自然の恵、命の大切さを伝えていきたい」と話していた。



石田牧場社長  
石田 陽一さん



# 子育ては自然の中で



自然を身近に感じられる都市の中で、子育てのいろいろな取り組みをしているんだ。



県立座間谷戸山公園(座間市)



県立相模三川公園(海老名市)



県立辻堂海浜公園(藤沢市)



県立相模原公園(相模原市)

## 身近な子育て支援 《海老名市》

はぐ はぐ  
HUG HUG えびな宣言で、「子育てしやすいまち海老名」を目指している海老名市

市の中心部にある市立の子育て支援センター、通称「すくすく」では、年齢別サロンや、すくすく広場、育児相談や講座など、多彩な事業を開催している。

また、「すくすく」が遠い人には、市内に3か所設置されている地域版子育て支援センター「はぐはぐ広場」がある。

身近な地域でいつでも遊びに行けて、保護者もほっと一息つける。

### 【はぐはぐ広場SORA】

◎〒243-0401 海老名市東柏ヶ谷5-1-15  
スターライトビル101  
◎火曜日～土曜日 午前10時～午後4時  
(祝日、12月29日～1月3日を除く)  
◎tel:046(206)4471 / fax:046(206)4481

### 【はぐはぐ広場はらっぱ】

◎〒243-0427 海老名市杉久保南4-31-1  
◎火曜日～土曜日 午前9時30分～午後3時30分  
(祝日、12月29日～1月3日を除く)  
◎tel:046(259)8946 / fax:046(259)8947

### 【はぐはぐ広場木もれび】

◎〒243-0431 海老名市上今泉1-14-45  
◎火曜日～土曜日 午前9時30分～午後3時30分  
(祝日、12月29日～1月3日を除く)  
◎tel:046(244)5426 / fax:046(244)5427



北部はぐはぐ広場

海老名市の子育て支援制度について

HUG HUG えびな

検索



すくすく(おもちゃ広場)



## 子育てがしやすい 《厚木市》

子育て環境日本一を目指して

様々な手厚い支援を行っている厚木市

手厚い支援の中でも、子育て支援センターもみじの手は、県内最大級の広さで、年間10万人の子どもと保護者に利用されている人気の施設。

その魅力について、子育て支援相談員の中国さんに伺った。中国さんは、「もみじの手は、母親たちの実家の役割を担う存在。子育てに一生懸命な母親の話を温かく受け止め、アドバイスすることに心掛けている。」と語っていた。

市内外問わず利用でき、予約不要で利用料金もなし。子どもたちと遊びながら安心して相談もできる子育てサロン室はいつも、多くの親子でいっぱい。

### 【子育て支援センターもみじの手】

◎〒243-0018 厚木市中町2-12-15(アミューあつぎ8階)

◎サロン室 午前9時～午後4時

相談事業 午前8時30分～午後5時15分

◎祝日、年末年始(12月29日～1月3日)及びアミューあつぎ休館日休業

◎tel:046(225)2922 / fax:046(223)1684

厚木市の子育て支援制度について



厚木市の子育て支援制度



子育て支援相談員の中国さん

おとぎの国のような不思議な空間



大人気の読み聞かせ



保育士さんと一緒に体操

## 女性が働きやすい環境 《相模原市》

地域に根差した製紐会社＝  
株式会社イノウエを取材

1928年から続く(株)イノウエでは、組紐技術を応用した様々な色・種類のヘアゴムや静電気除去リングなどのオリジナル商品の開発を中心に製造・販売を行っている。

美しい豊かな自然に恵まれた津久井地域で育まれた伝統の組み紐文化を通して地域発展のために取り組んでいる。

企画デザインを担当している水溜さんにお話を伺った。

「女性らしい視点で、若者向け商品の企画・開発を担当しています。自分がデザインしたものがお店で売られているのを見ると感動します。また、有給休暇を始め、出産休暇や育児休業も取りやすく、女性が働きやすい会社です。」



水溜さんがデザインした商品



デザイナーの水溜さん



株式会社イノウエ社長 井上 毅さん





# 自然とまちが共生する地域



## 海と空に見守られて《茅ヶ崎市》

茅ヶ崎市民は自然と海との繋がりが強く、休日になるとサーフィンを含め海で過ごす方も多し。サーフィンスクールも増え、女性も楽しめる環境が整備されている。スクールを手掛けているサーフショップなどでは、サーフィンに必要な道具がそろい、レンタルできるから家族でやるのも良い。世界中の海を体感してきた寺尾さんは、「茅ヶ崎の海は、波が穏やかで優しく、老若男女だれもが楽しめる」と太鼓判を押す。茅ヶ崎市では、茅ヶ崎が好きな人が多く住むため、一度住む場所を変えても戻ってくる。夜も友人と過ごす人が多く、知り合いと飲み会をすることも度々あるそうだ。



茅ヶ崎サーフィン協会 寺尾さんと一緒に





## 豊かな自然と培われた歴史 《伊勢原市》

大山は、江戸時代に「大山詣り」をする人でとてもにぎわった。今でも多くの人を訪れる大山寺と大山阿夫利神社下社へは、ケーブルカーでも行くことができる。秋になると、大山寺の紅葉はとってもきれい。「大山阿夫利神社からの眺望」は、「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン 改訂第4版」で、2つ星として紹介されている。



大山寺の紅葉



クルリン



2015年に新しくなったケーブルカー



ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン2つ星の眺望

## 自然に囲まれた便利なまち 《座間市》

風を感じる街づくりを目指す。サイクリングでコンパクトなまちづくり。

座間市の畑として使わなくなった土地を有効活用。全国から人が訪れる55万本のヒマワリはまさに圧巻！畑に水を運ぶために使われていた水路沿いには64種の桜が道順に開花する。

湧き水が豊富で、「座間水」として販売も。



ひまわり祭 座間・四ツ谷会場のひまわり畑



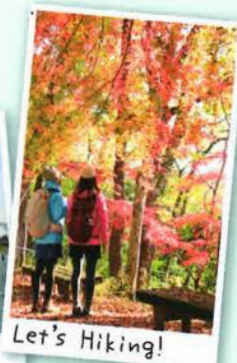
東丹沢七沢温泉郷・飯山温泉郷

## 少し足を延ばせば 自然がたくさん 《厚木市》

自然が多い厚木市は少し足を延ばせば温泉やハイキングコースが充実。こじんまりとした雰囲気ですっきりと過ごすことができます。



相模川



Let's Hiking!



# 県央・湘南都市圏の魅力

## 多彩な街



いろんな魅力をもっと紹介しちゃおうよ



### I Love EBINA CITYを加速! EBINAダンス《海老名市》

海老名市では「海老名をダンスで盛り上げよう」の掛け声で、DA PUMPのKENZO氏とともに、EBINAダンスを制作

### 地元の人たちと作り上げるクラブ《相模原市》

#### SC相模原

2008年に発足したチームで、サポーターと一緒にチームづくりをしている。地域の学校の体育の授業にスタッフが参加する活動をしていたり、夢授業として選手が学校を訪問したりしている。教わった生徒たちが家族連れで観戦に来ることも多い。試合前のスターティングイレブンの選手紹介に、子どもたちが描いた似顔絵を使用するなど、子どもたちの未来と笑顔を最優先し

た運営を行っている。相模原市では、SC相模原を全国での活躍が期待できる「ホームタウンチーム」として認定し、スポーツ振興によるまちづくりを進めている。



稲本選手



### 湘南の海を感じてセーリングで東京2020大会を盛り上げよう《藤沢市》

東京2020オリンピックで藤沢市が会場となるセーリング。藤沢市では、小学生にセーリング体験をしてもらったり、パラスポーツ講演会や体操教室を実施したり、バリアフリーにも配慮しながら、大会の盛り上げを図っている。そして、地元の人たちを中心にした「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」。東京2020大会が、どんどん盛り上がっている。

### ボッチャで湘南のみんなと交流を深めよう

藤沢市役所で、パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」という競技を体験してきた。これは、赤・青のボールを投げたりして白いボールにどれだけ近づけるかを競うもので、難しかった。

